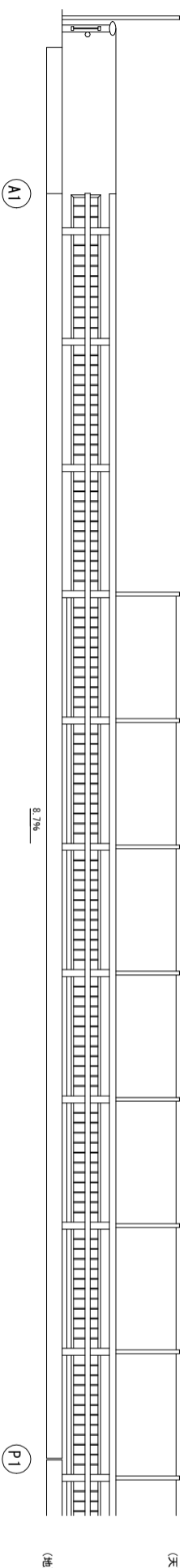
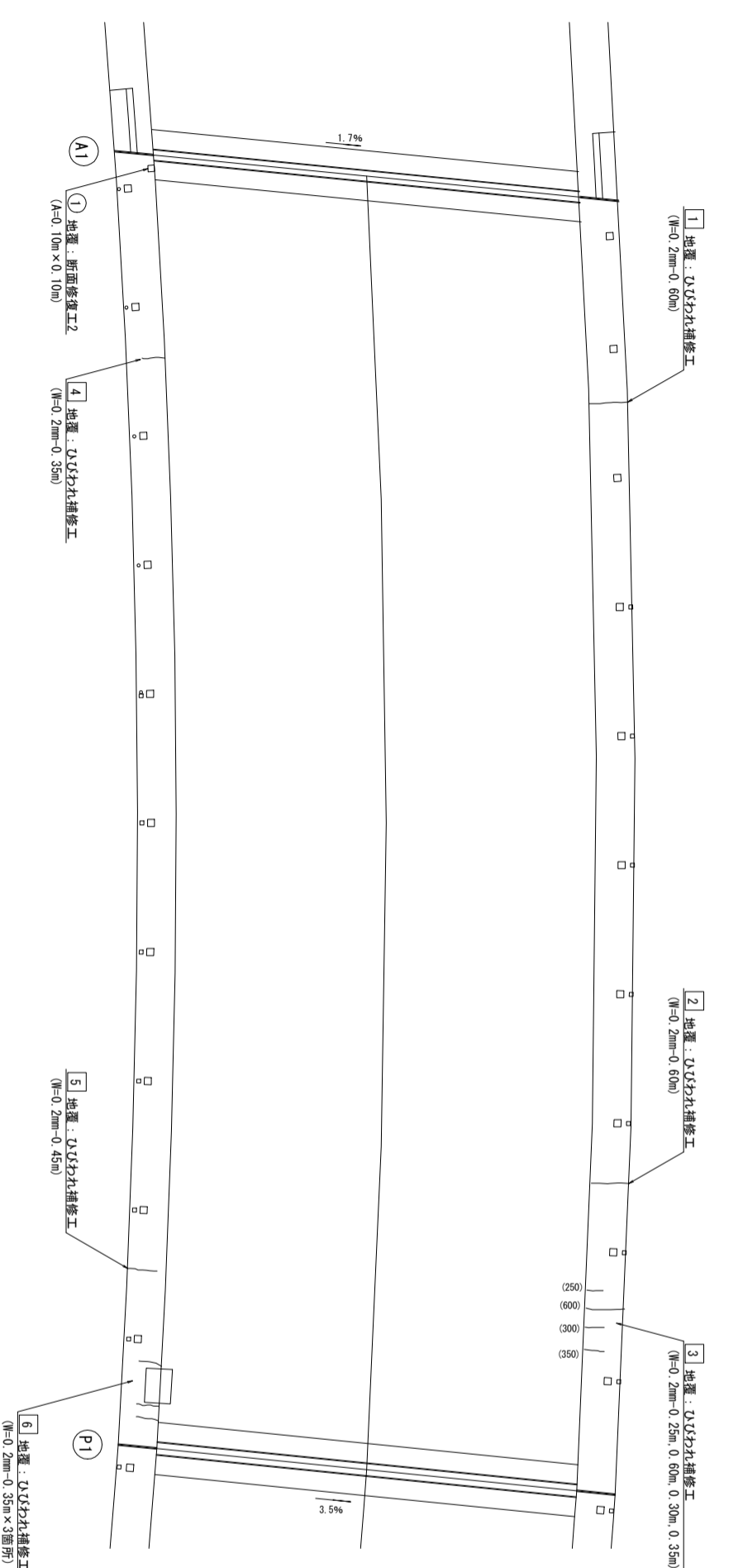


鹿向谷大橋 補修図(1) [橋面]

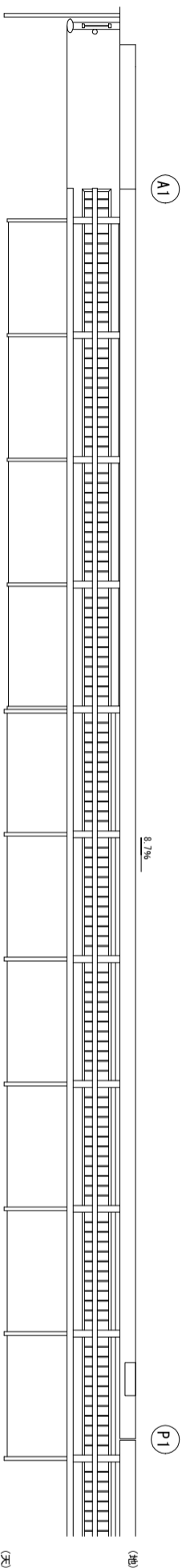
左側側面図



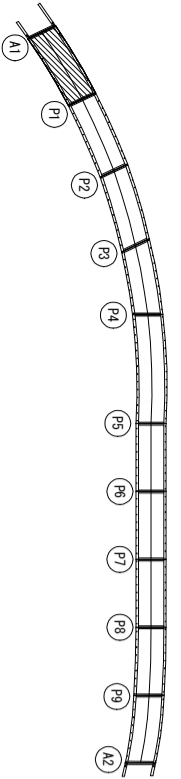
平面図



右側側面図



位置図



損傷の種類	表示	対策工法
ひびわれ		ひびわれ補修工
鉄筋露出		断面修復工1 (防錆処理あり)
うき		断面表記
遊離石灰		断面表記
その他		断面表記

※1: ひびわれ補修工は下記とする。
 0.2mm≦W<1.0mm
 W≧1.0mmまたは遊離石灰を伴う: ひびわれ充填工
 ※2: 欠損は、断面修復工とする。

断面修復工2(防錆処理なし)数量

部材名	No.	損傷寸法	面積(m ²)
地覆	1	0.10 × 0.10	0.010
合計			0.010

ひびわれ補修工数量

部材名	0.2mm≦W<1.0mm		1.0mm≦W及び遊離石灰を伴う場合	
	No.	寸法(m)	寸法(m)	面積(m ²)
地覆	1	0.60	0.2	
	2	0.60	0.2	
地覆	3	0.25	0.2	
		0.60	0.2	
		0.30	0.2	
地覆	4	0.35	0.2	
	5	0.45	0.2	
地覆	6	0.35 × 3	0.2	
合計		4.55	0.2	0.00

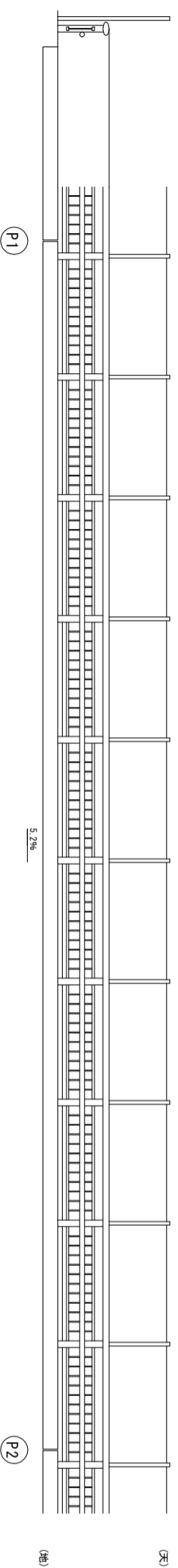
注記)
 1. 施工前には必ず現況寸法を再測し、図面照合の後、施工箇所を決定すること。

(鹿向谷大橋)

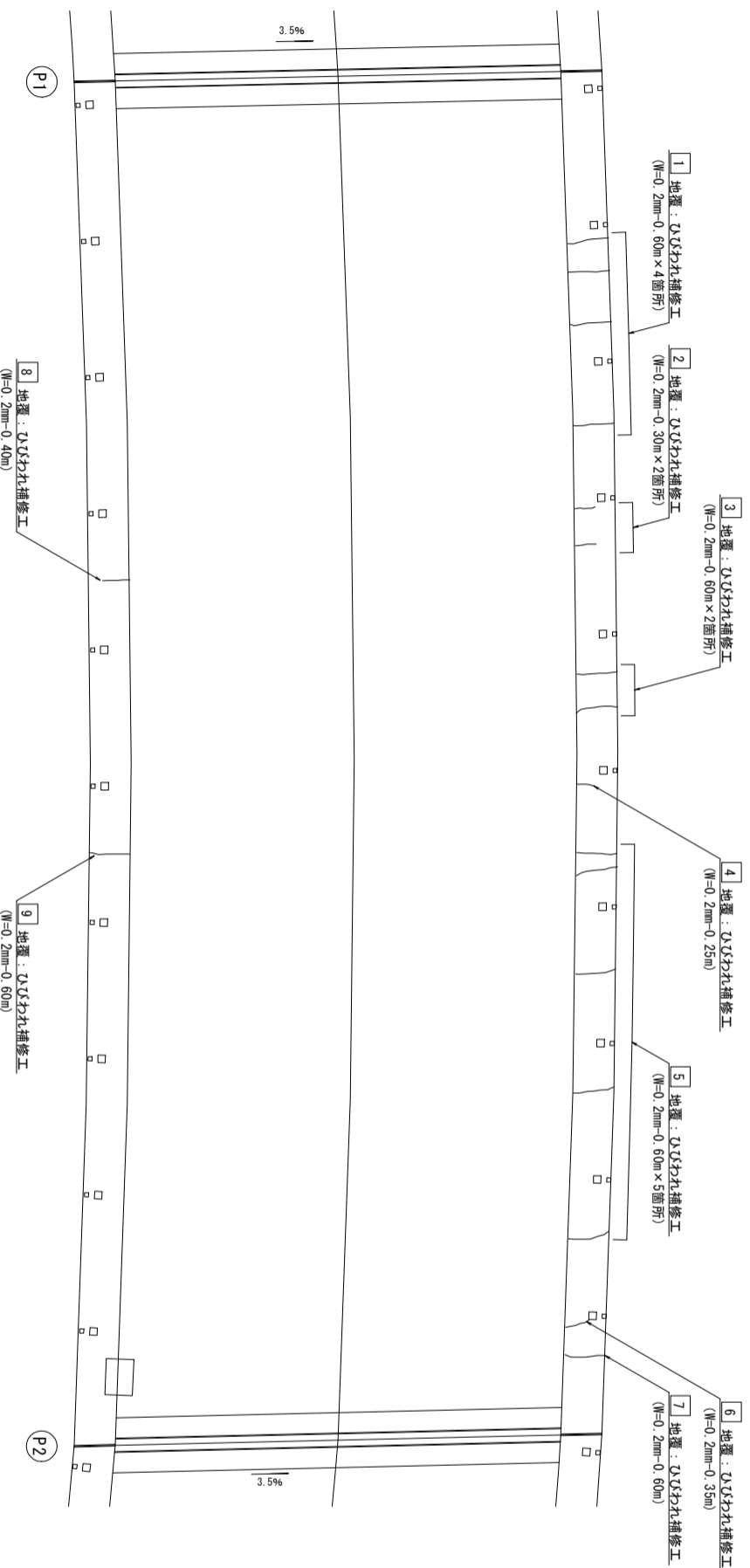
大 町	
工事種別	
図面名称	鹿向谷大橋 補修図(1)
縮尺	—
橋梁河川名	町道竹内条日線
工事箇所	大坂府本字町山田
設計種別	
事務所名	
図面番号	2-14
会社名	国際航業株式会社

鹿向谷大橋 補修図 (2) [橋面]

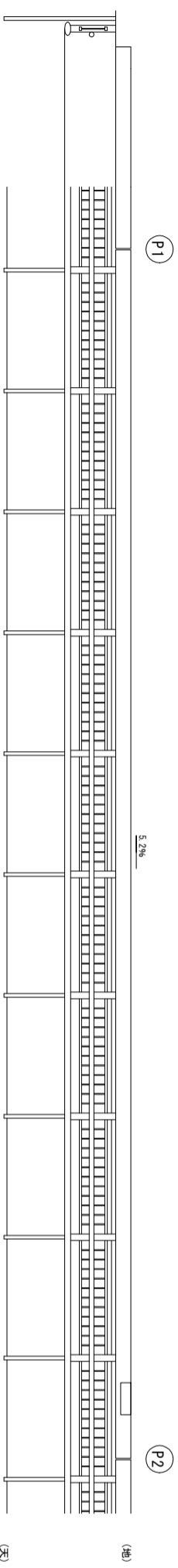
左側側面図



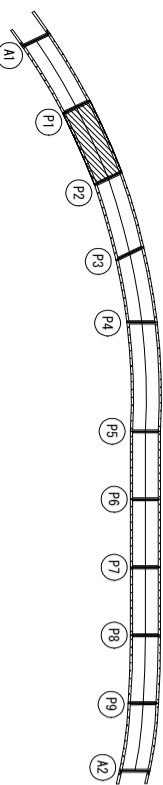
平面図



右側側面図



位置図



損傷の種類	表示	対策工法
ひびわれ		ひびわれ補修工
鉄筋露出		断面修復工1 (防錆処理あり)
うき		断面表記
遊離石灰		断面表記
その他		断面表記

※1：ひびわれ補修工は下記とする。
 0.2mm≦W<1.0mm W≧1.0mmまたは遊離石灰を伴う：ひびわれ充填
 ※2：欠損は、断面修復工とする。

ひびわれ補修工数量

部材名	No.	0.2mm≦W<1.0mm		1.0mm≦W及び遊離石灰を伴う場合	
		寸法(m)	幅(mm)	寸法(m)	幅(mm)
地覆	1	0.60 × 4	0.2		
地覆	2	0.30 × 2	0.2		
地覆	3	0.60 × 2	0.2		
地覆	4	0.25	0.2		
地覆	5	0.60 × 5	0.2		
地覆	6	0.35	0.2		
地覆	7	0.60	0.2		
地覆	8	0.40	0.2		
地覆	9	0.60	0.2		
合計		9.40	0.2		0.00

注記)
 1. 施工前には必ず現況寸法を再測し、図面照合の後、施工箇所を決定すること。

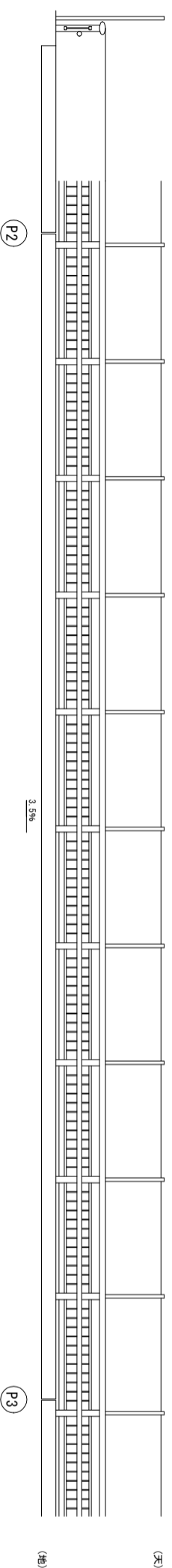
(鹿向谷大橋)

大 子 町

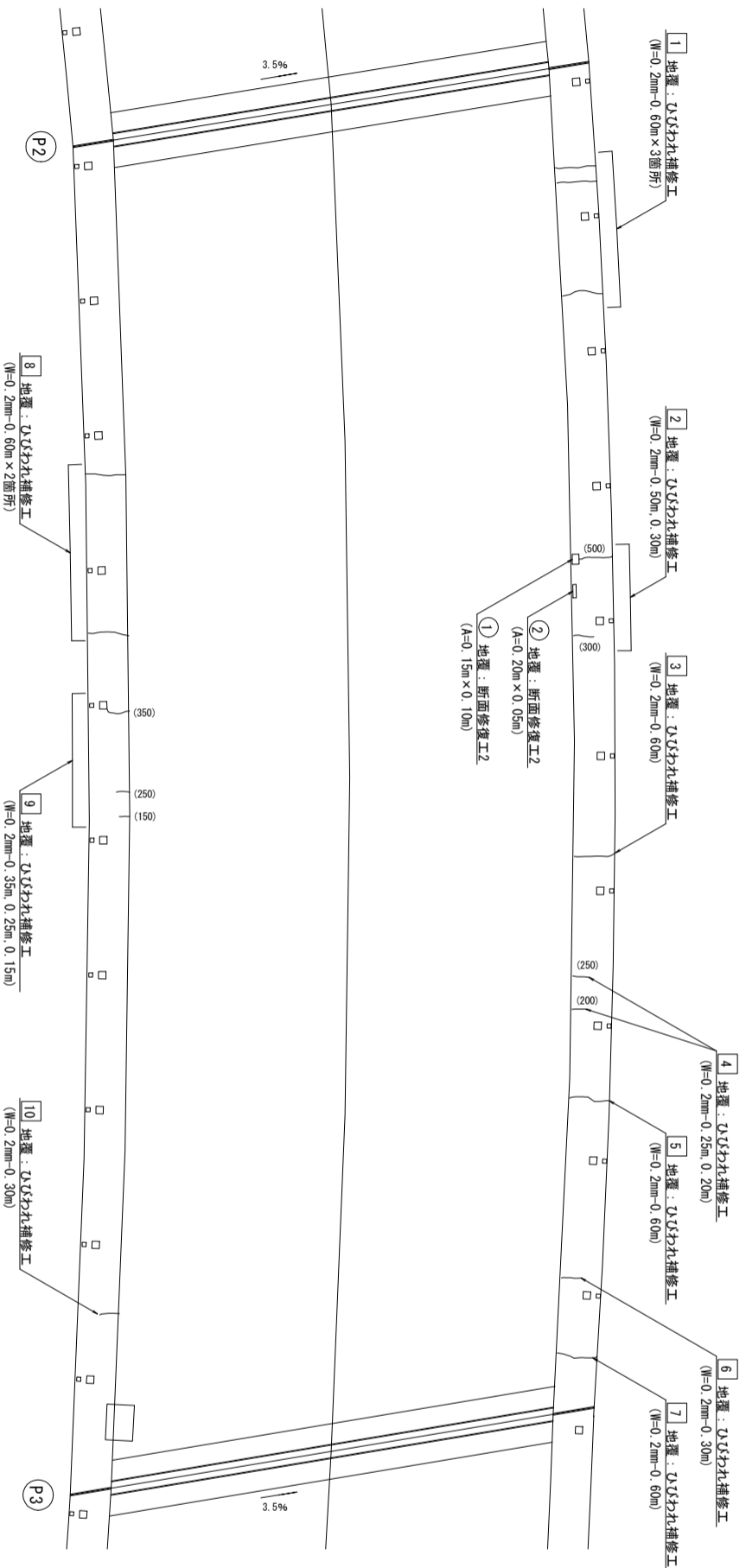
工事種別	大 子 町	
図面名称	鹿向谷大橋 補修図(2)	縮尺
橋梁河川名	町道竹内線日線	
工事箇所	大阪府本字町山田	
設計種別		図面番号
事務所名		14
会社名	国際航業株式会社	

鹿向谷大橋 補修図 (3) [橋面]

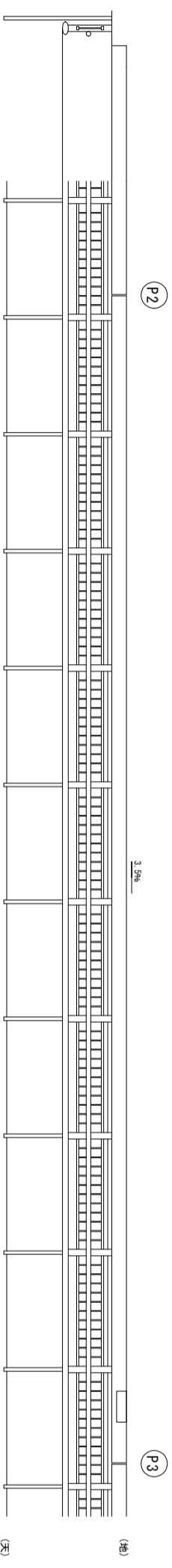
左側側面図



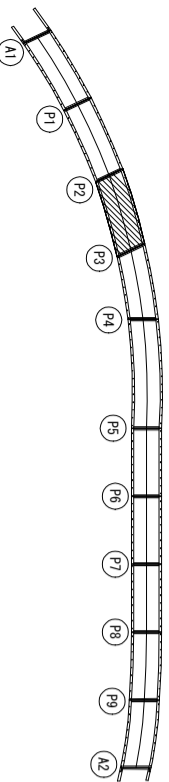
平面図



右側側面図



位置図



損傷の種類	表示	対策工法
Uびわれ		Uびわれ補修工
鉄筋露出		断面修復工1 (防錆処理あり)
うき		断面修復工1
遊離石灰		図面表記
その他		図面表記

※1: Uびわれ補修工は下記とする。：Uびわれ法入工
0.2mm≦W<1.0mm
W≧1.0mmまたは遊離石灰を伴う：Uびわれ充填工
※2: 欠損は、断面修復工とする。

断面修復工2(防錆処理なし)数量

部材名	No.	損傷寸法	面積 (㎡)
地覆	1	0.15 × 0.10	0.015
地覆	2	0.20 × 0.05	0.010
合 計			0.025

Uびわれ補修工数量

部材名	No.	0.2mm≦W<1.0mm		1.0mm≦W及び遊離石灰を伴う場合	
		寸法 (m)	幅 (mm)	寸法 (m)	幅 (mm)
地覆	1	0.60 × 3	0.2		
地覆	2	0.50	0.2		
地覆	3	0.30	0.2		
地覆	4	0.60	0.2		
地覆	5	0.20	0.2		
地覆	6	0.60	0.2		
地覆	7	0.60	0.2		
地覆	8	0.60 × 2	0.2		
地覆	9	0.35	0.2		
地覆	10	0.25	0.2		
地覆		0.15	0.2		
地覆	10	0.30	0.2		
合 計		7.40	0.2		0.00

注記)
1. 施工前には必ず現況寸法を再測し、図面照合
の後、施工箇所を決定すること。

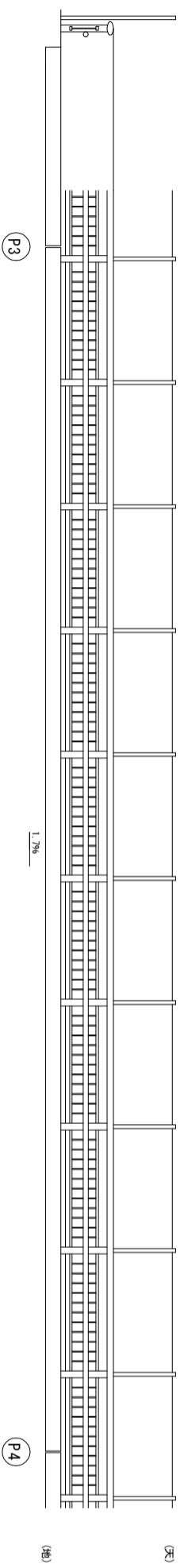
(鹿向谷大橋)

大 子 町

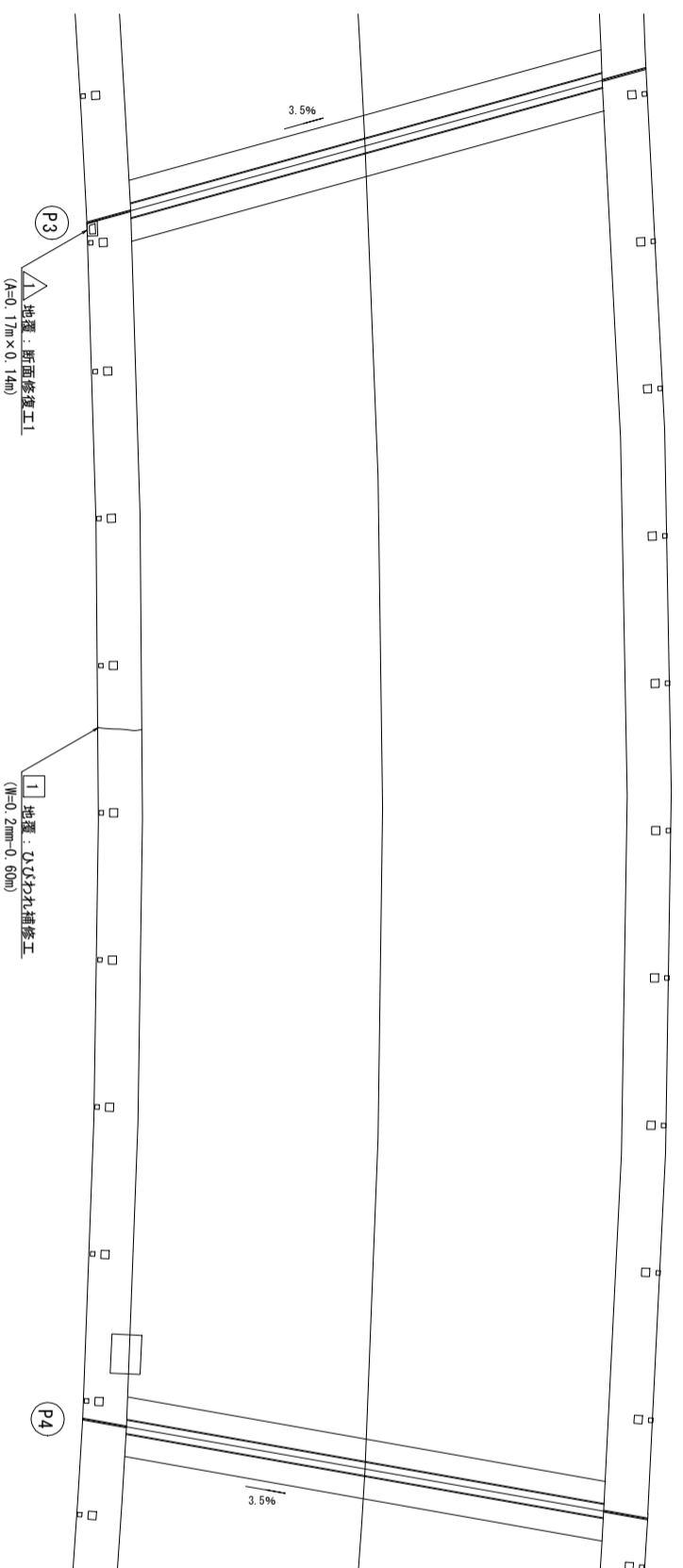
工事種別	大 子 町	
図面名称	鹿向谷大橋 補修図(3)	縮尺
橋梁河川名	町道竹内条日線	
工事箇所	大坂府本字町山田	
設計種別		図面
事務所名		番号
会社名	国際航業株式会社	4-14

鹿向谷大橋 補修図(4) [橋面]

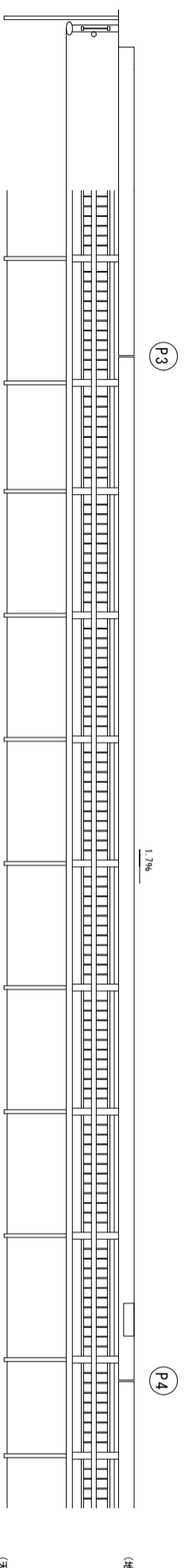
左側側面図



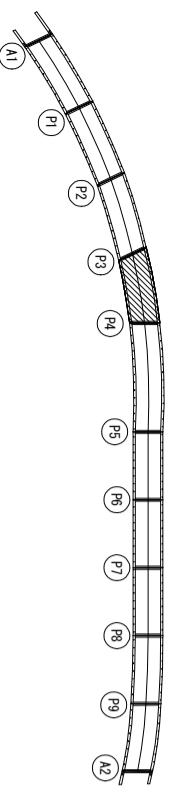
平面図



右側側面図



位置図



損傷の種類	表示	対策工法
ひびわれ		ひびわれ補修工
鉄筋露出		断面修復工 (防錆処理あり)
うき		断面修復工
遊離石灰		図面表記
その他		図面表記

※1: ひびわれ補修工は下記とする。
 ※2: 欠損は、断面修復工とする。

断面修復工(防錆処理あり)数量

部材名	No.	損傷寸法	面積 (m ²)
地覆	1	0.17 x 0.14	0.024
合 計			0.024

ひびわれ補修工数量

部材名	No.	0.2mm≦W<1.0mm 寸法 (m)	1.0mm≦W及び遊離石灰発生する場合 寸法 (m)	寸法 (m)	幅 (mm)
地覆	1	0.60	0.2		
合 計		0.60	0.2		0.00

(鹿向谷大橋)

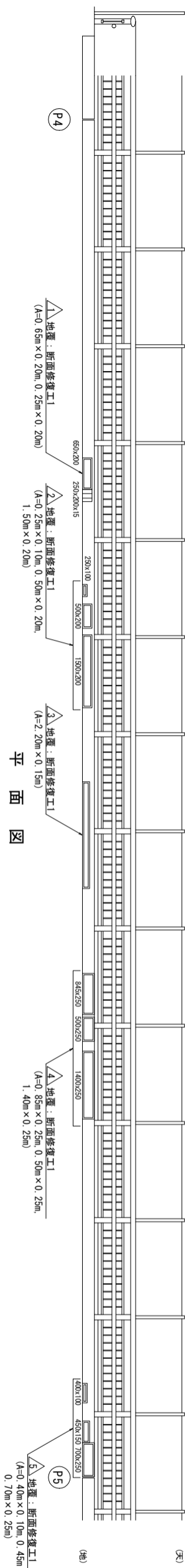
大	子	町
---	---	---

工事種別	大 子 町	
図面名称	鹿向谷大橋 補修図(4)	縮尺
橋梁河川名	町道竹内条日線	
工事箇所	大坂府本字町山田	
設計種別		図面
事務所名		番号
会社名	国際航業株式会社	

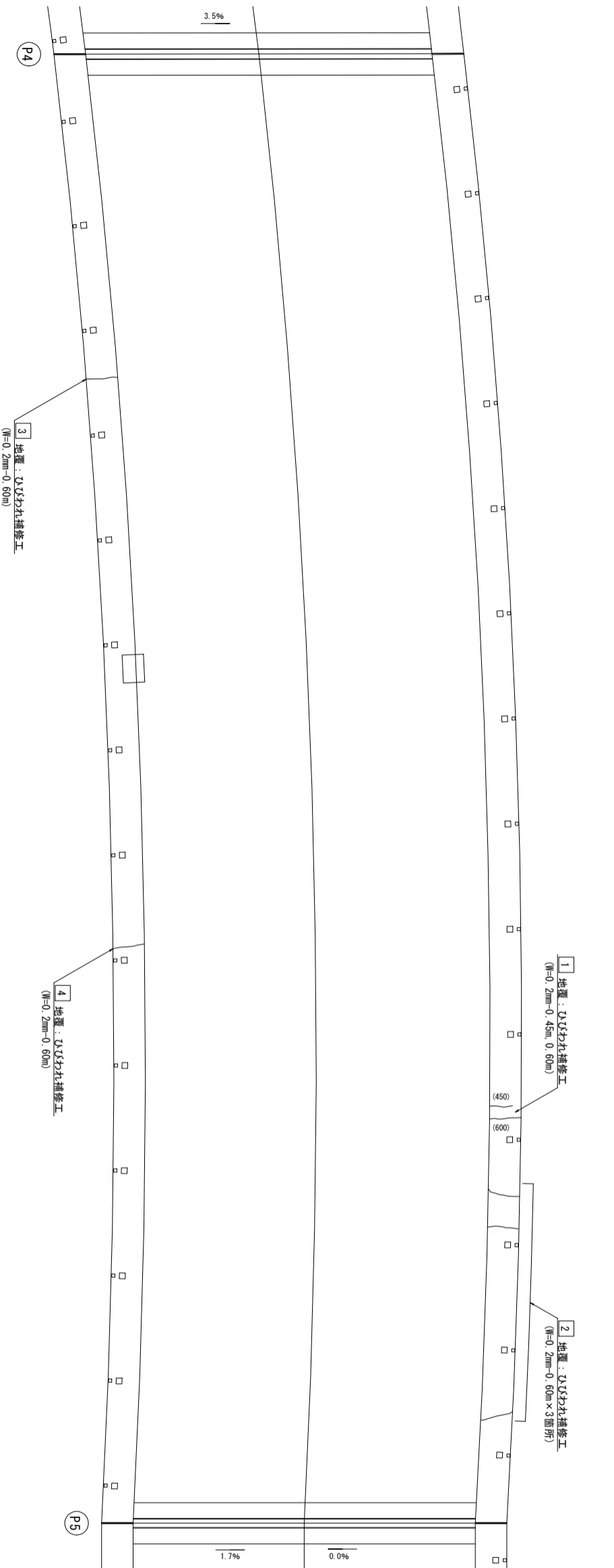
注記)
 1. 施工前には必ず現況寸法を再測し、図面照合
 の後、施工箇所を決定すること。

鹿向谷大橋 補修図(5) [橋面]

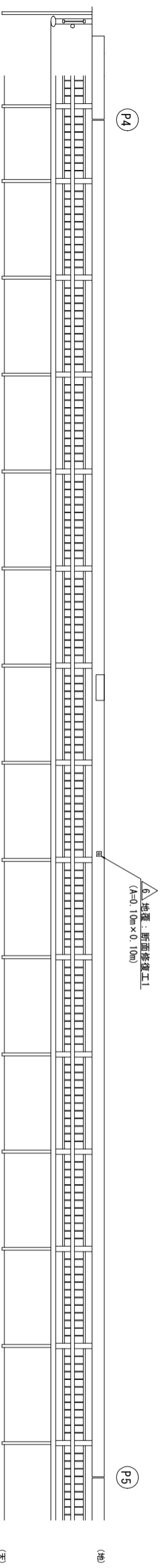
左側側面図



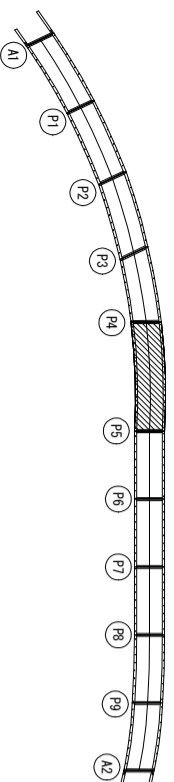
平面図



右側側面図



位置図



損傷の種類	表示	対策工法
ひびわれ		ひびわれ補修工
鉄筋露出		断面修復工 (防錆処理あり)
うき		断面修復工
遊離石灰		図面表記
その他		図面表記

※1. ひびわれ補修工は下記とする。： ひびわれ法入工
 0.2mm≦W<1.0mm
 W≧1.0mmまたは遊離石灰を伴う： ひびわれ充填工
 ※2. 本図は、断面修復工とする。

断面修復工1(防錆処理あり)数量

部材名	No.	損傷寸法	面積(m ²)
地覆	1	0.65 x 0.20	0.130
地覆	2	0.25 x 0.20	0.050
地覆	3	0.25 x 0.10	0.025
地覆	4	0.50 x 0.20	0.100
地覆	5	1.50 x 0.20	0.300
地覆	6	2.20 x 0.15	0.330
地覆	7	0.85 x 0.25	0.213
地覆	8	0.50 x 0.25	0.125
地覆	9	1.40 x 0.25	0.350
地覆	10	0.40 x 0.10	0.040
地覆	11	0.45 x 0.15	0.068
地覆	12	0.70 x 0.25	0.175
地覆	13	0.10 x 0.10	0.010
合計			1.916

ひびわれ補修工数量

部材名	No.	0.2mm≦W<1.0mm 寸法(m)	1.0mm≦Wひび割れ石灰を伴う場合 寸法(m)	幅(mm)	幅(mm)
地覆	1	0.45	0.2	0.2	
地覆	2	0.60	0.2	0.2	
地覆	3	0.60 x 3	0.2	0.2	
地覆	4	0.60	0.2	0.2	
合計		4.05	0.2		0.00

(鹿向谷大橋)

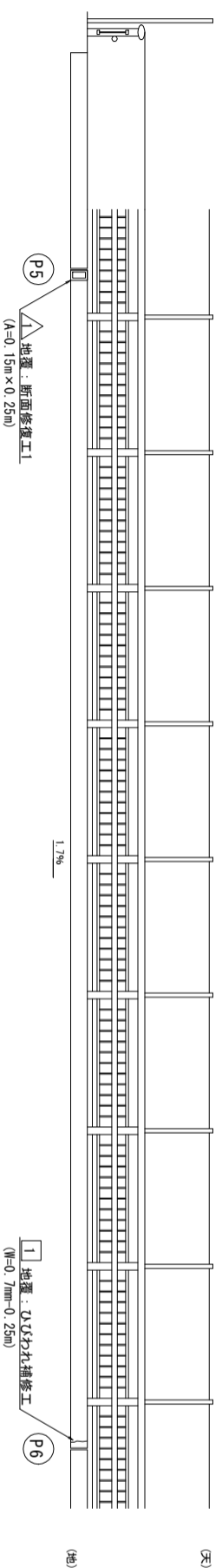
大 子 町

工事種別	鹿向谷大橋 補修図(5)		縮尺	—
図面名称	鹿向谷大橋 補修図(5)		縮尺	—
図面番号	町道竹内線日線		縮尺	—
設計種別	大阪府本字町山田		縮尺	—
事務所名	国際航業株式会社		図面番号	6-14
会社名	国際航業株式会社		図面番号	6-14

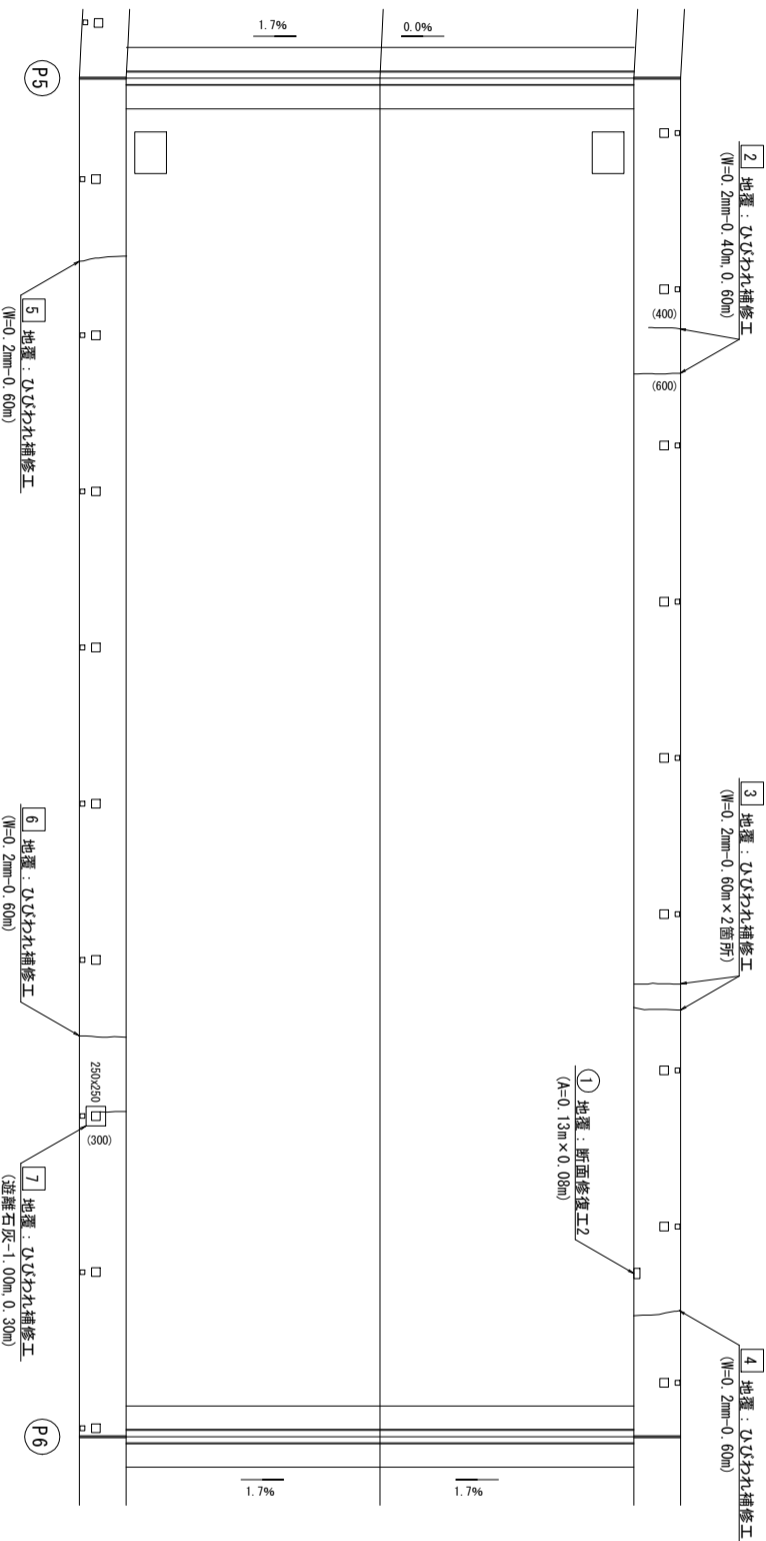
注記)
 1. 施工前には必ず現況寸法を再測し、図面照合
 の後、施工箇所を決定すること。

鹿向谷大橋 補修図(6) [橋面]

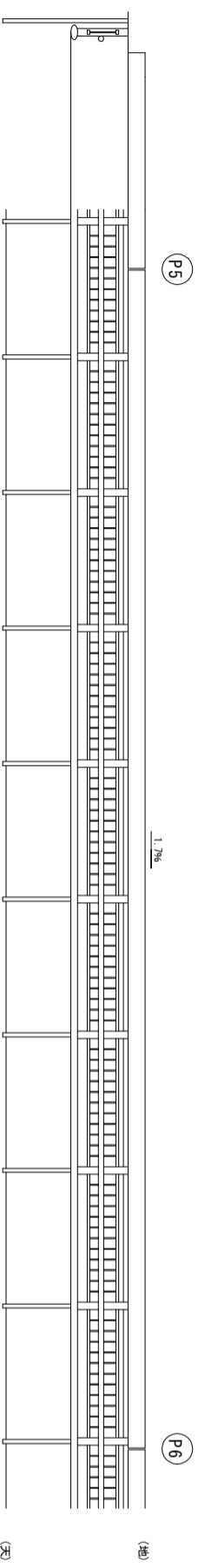
左側側面図



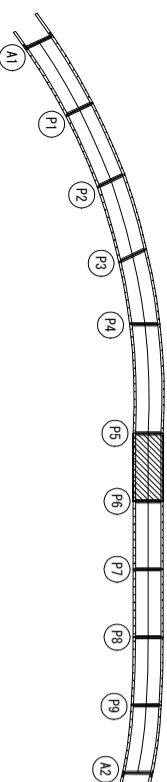
平面図



右側側面図



位置図



損傷の種類	表示	対策工法
ひびわれ		ひびわれ補修工
鉄筋露出		断面修復工1 (防錆処理あり)
うき		断面修復工1 (防錆処理あり)
遊離石灰		図面表記
その他		図面表記

※1: ひびわれ補修工は下記とする。
 0.2mm≦W<1.0mm
 W≧1.0mmまたは遊離石灰を伴う: ひびわれ充填
 ※2: 欠損は、断面修復工2とする。

断面修復工1(防錆処理あり)数量

部材名	No.	損傷寸法	面積 (m ²)
地覆	1	0.15 × 0.25	0.038
合計			0.038

断面修復工2(防錆処理なし)数量

部材名	No.	損傷寸法	面積 (m ²)
地覆	1	0.13 × 0.08	0.010
合計			0.010

ひびわれ補修工数量

部材名	0.2mm≦W<1.0mm		1.0mm≧W及び遊離石灰を伴う場合	
	寸法 (m)	幅 (mm)	寸法 (m)	幅 (mm)
地覆	1	0.25	0.7	
地覆	2	0.40	0.2	
地覆		0.60	0.2	
地覆	3	0.60 × 2	0.2	
地覆	4	0.60	0.2	
地覆	5	0.60	0.2	
地覆	6	0.60	0.2	
地覆	7		1.00	遊離石灰
合計		4.00	0.2	1.30
		0.25	0.7	

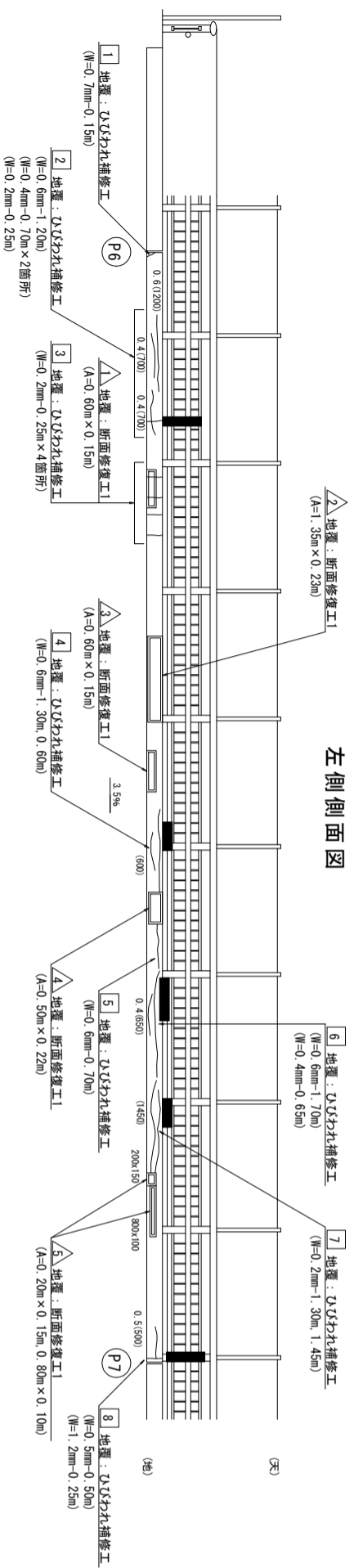
(鹿向谷大橋)

大 子 町

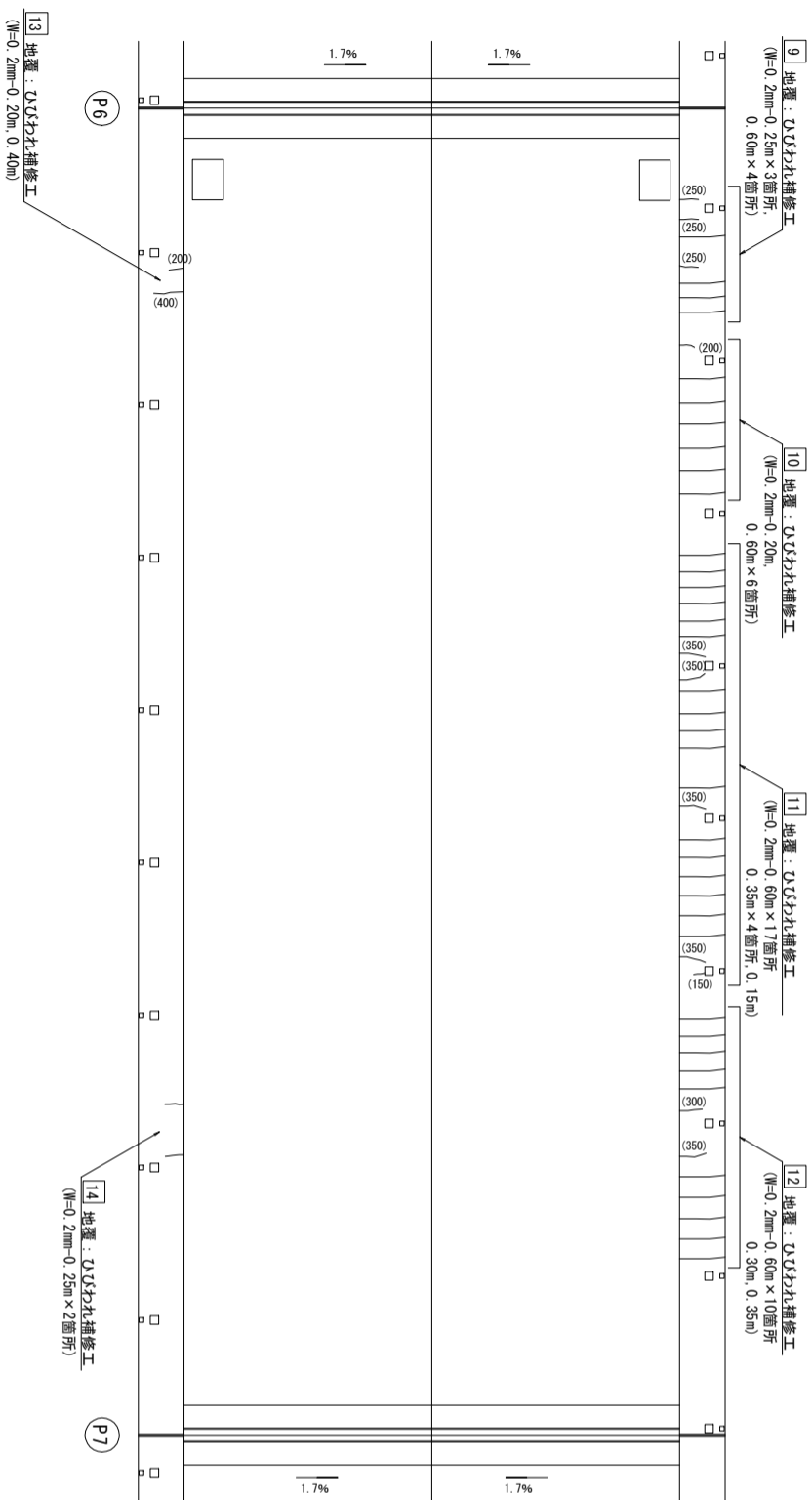
工事種別	鹿向谷大橋 補修図(6)	
図面名称	鹿向谷大橋 補修図(6)	縮尺
鹿向谷川名	町道竹内条日線	
工事箇所	大坂府本字町山田	
設計種別		図面番号
事務所名		7-14
会社名	国際産業株式会社	

注記)
 1. 施工前には必ず現況寸法を再測し、図面照合の後、施工箇所を決定すること。

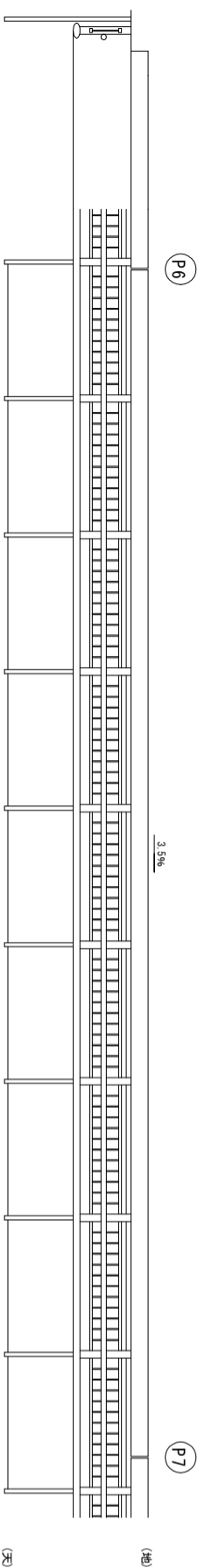
鹿向谷大橋 補修図(7) [橋面]



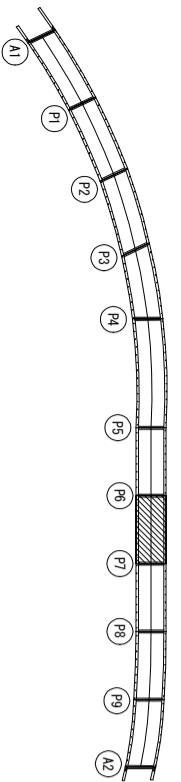
左側側面図



平面図



右側側面図



位置図

断面修復工1(防錆処理あり)数量

部材名	No.	措置寸法	面積(m ²)
地覆	1	0.60 x 0.15	0.090
地覆	2	1.35 x 0.23	0.311
地覆	3	0.60 x 0.15	0.090
地覆	4	0.50 x 0.22	0.110
地覆	5	0.20 x 0.15	0.030
合 計		0.80 x 0.10	0.680
			0.711

ひびわれ補修工数量

部材名	No.	寸法(m)	1.0mm≧厚さひび割れ石灰系床土埋合寸法(m)	1.0mm≦厚さひび割れ石灰系床土埋合寸法(m)
地覆	1	0.15	0.7	
地覆	2	1.20	0.6	
地覆	3	0.70 x 2	0.4	
地覆	4	0.25	0.2	
地覆	5	0.25 x 4	0.2	
地覆	6	1.30	0.6	
地覆	7	0.60 x 4	0.2	
地覆	8	0.50	0.5	
地覆	9	0.25 x 3	0.2	0.25
地覆	10	0.60 x 4	0.2	
地覆	11	0.60 x 6	0.2	
地覆	12	0.60 x 17	0.2	
地覆	13	0.35 x 4	0.2	
地覆	14	0.60 x 10	0.2	
地覆	合計	0.30	0.2	
地覆	合計	0.35	0.2	
地覆	合計	0.20	0.2	
地覆	合計	0.40	0.2	
地覆	合計	0.25 x 2	0.2	
合計		30.45	0.2	0.25
		2.05	0.4	
		0.50	0.5	
		5.50	0.6	
		0.15	0.7	

損傷の種類	表示	対策工法
ひびわれ		ひびわれ補修工
鉄筋露出		断面修復工1(防錆処理あり)
うき		断面表記
遊離石灰		断面表記
その他		断面表記

※1 ひびわれ補修工は下記とする。： ひびわれ法入工
0.2mm≦厚さひび割れ石灰系床土埋合寸法(m)
W≧1.0mmまたは遊離石灰を伴う： ひびわれ充填工
※2 欠損は、断面修復工とする。

(鹿向谷大橋)

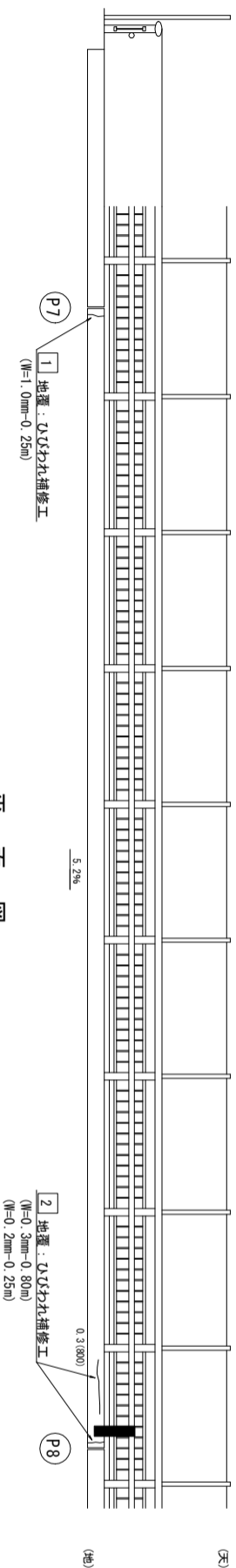
大 子 町

工事種別	大 子 町	
図面名称	鹿向谷大橋 補修図(7)	縮尺
経緯(河川名)	町道竹内線	
工事箇所	大飯本字町山田	
設計種別		図面番号
事務所名		8-14
会社名	国際建築株式会社	

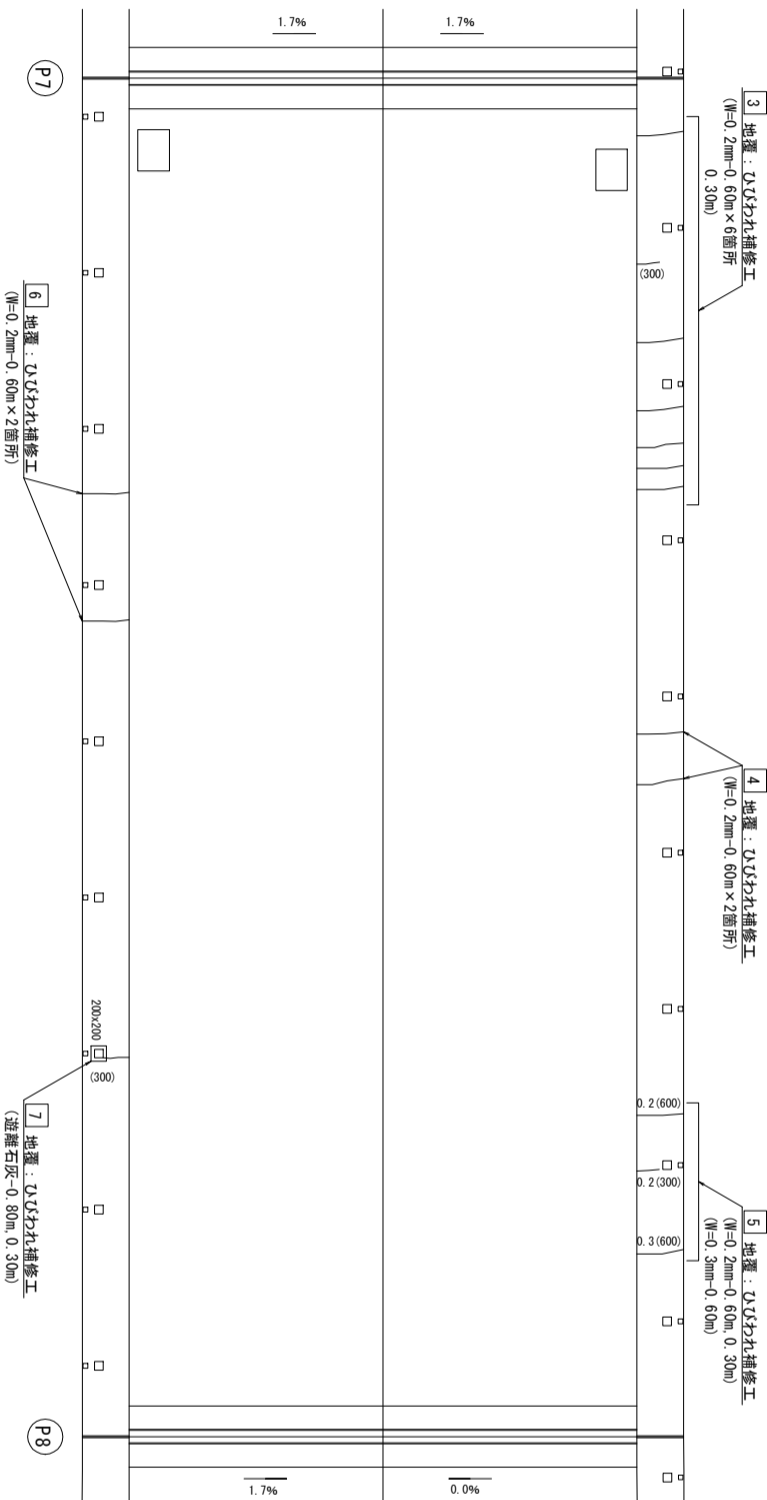
注記)
1. 施工前には必ず埋合寸法を再測し、図面照合
の後、施工箇所を決定すること。

鹿向谷大橋 補修図(8) [橋面]

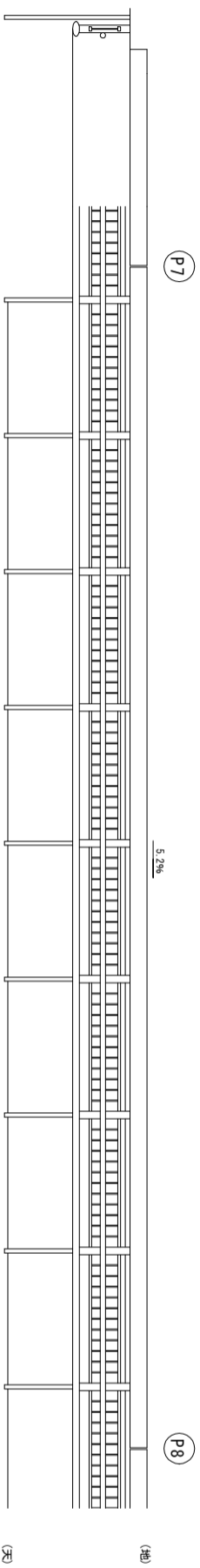
左側側面図



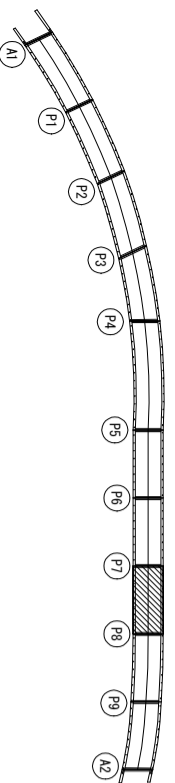
平面図



右側側面図



位置図



損傷の種類	表示	対策工法
ひびわれ		ひびわれ補修工
鉄筋露出		断面修復工 (防錆処理あり)
うき		図面表記
遊離石灰		図面表記
その他		図面表記

※1: ひびわれ補修工は下記とする。
 ※2: 欠損は、断面修復工とする。

ひびわれ補修工数量

部材名	0.2mm≦W<1.0mm		1.0mm≦W及び遊離石灰を生ずる場合	
	寸法(m)	幅(mm)	寸法(m)	幅(mm)
地覆 1	0.80	0.3	0.25	1.0
地覆 2	0.25	0.2		
地覆 3	0.60 × 6	0.2		
地覆 4	0.60 × 2	0.2		
地覆 5	0.60	0.2		
地覆 6	0.60 × 2	0.2		
地覆 7	0.60	0.3		
合計	7.45	0.2	1.35	
	1.40	0.3		

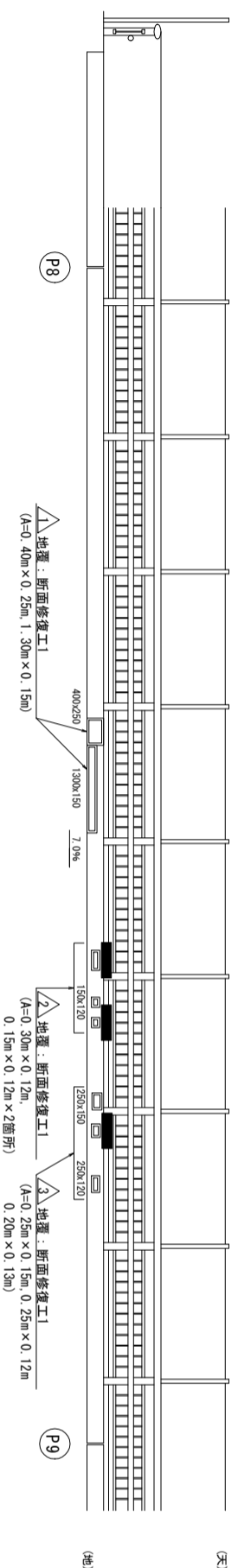
注記)
 1. 施工前には必ず現況寸法を再測し、図面照合の後、施工箇所を決定すること。

(鹿向谷大橋)

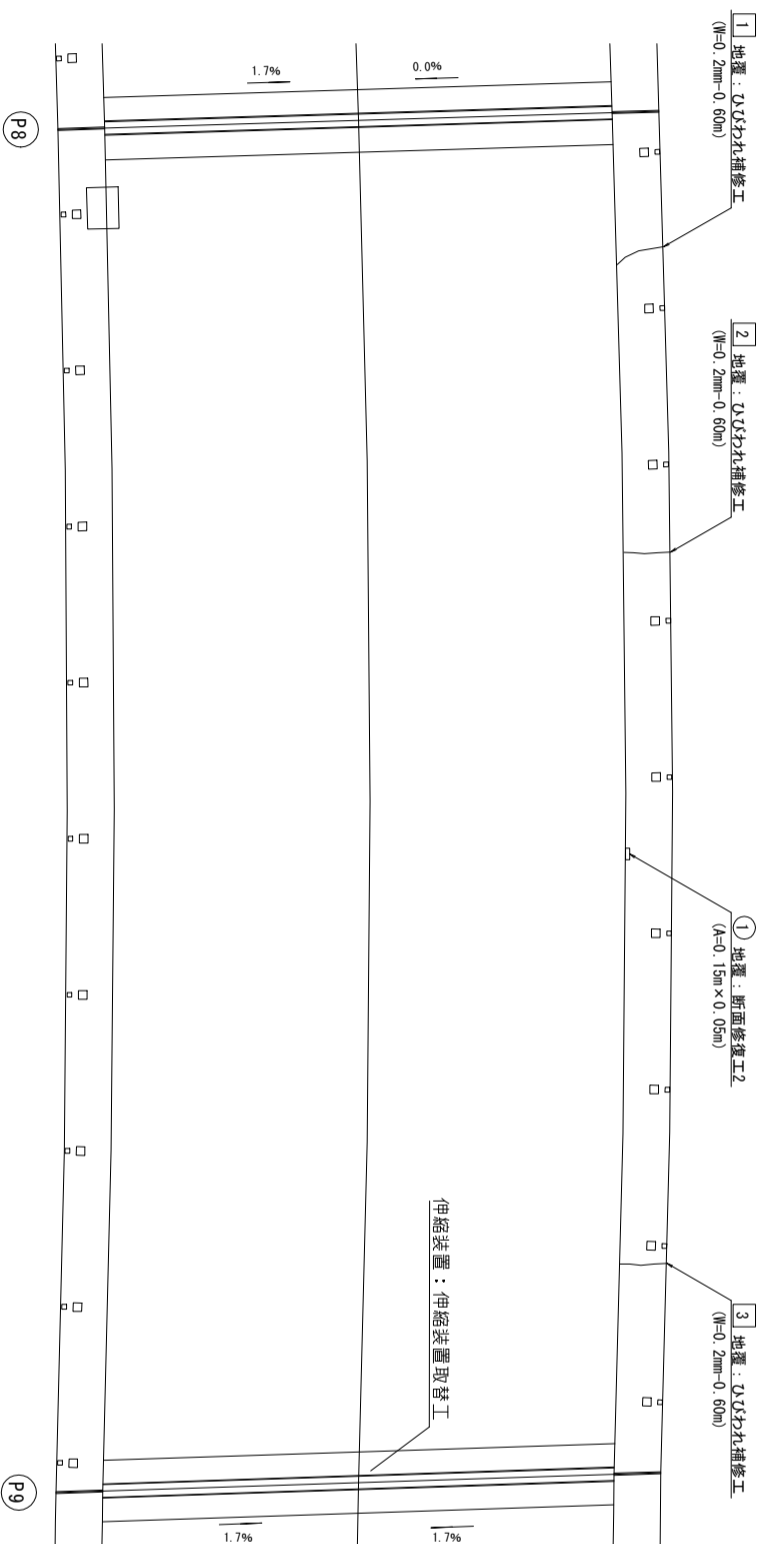
大		子		町	
工事種別					
図面名称	鹿向谷大橋 補修図(8)	縮尺	—		
橋梁河川名	町道竹内線	設計種別			
工事箇所	大坂府本字町山田	事務所名			
図面番号	9/14	会社名	国際航業株式会社		

鹿向谷大橋 補修図(9) [橋面]

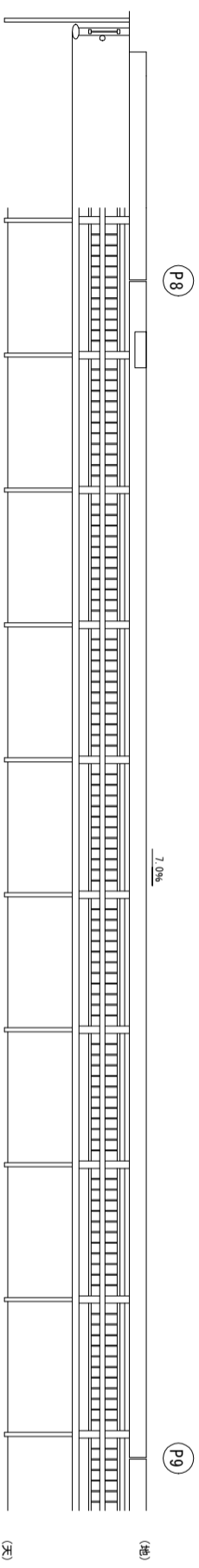
左側側面図



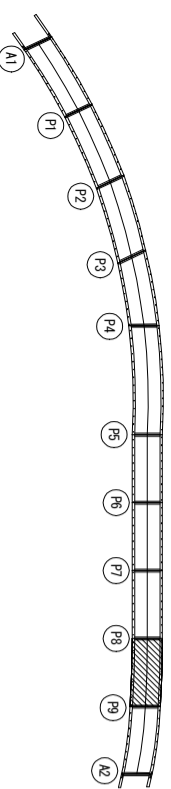
平面図



右側側面図



位置図



損傷の種類	表示	対策工法
ひびわれ		ひびわれ補修工
鉄筋露出		断面修復工1 (防錆処理あり)
うき		断面修復工1 (防錆処理あり)
道床石灰		図面表記
その他		図面表記

※1: ひびわれ補修工は下記とする。
 0.2mm≦W<1.0mm
 W≧1.0mmまたは道床石灰を伴う: ひびわれ充填工
 ※2: 欠損は、断面修復工2とする。

断面修復工1(防錆処理あり)数量

部材名	No.	損傷寸法	面積(m ²)
地覆	1	0.40 × 0.25	0.100
	2	1.30 × 0.15	0.195
地覆	2	0.30 × 0.12	0.036
	3	0.15 × 0.12 × 2	0.036
地覆	2	0.25 × 0.15	0.038
	3	0.25 × 0.12	0.030
合 計			0.226
合 計			0.461

断面修復工2(防錆処理なし)数量

部材名	No.	損傷寸法	面積(m ²)
地覆	1	0.15 × 0.05	0.008
合 計			0.008

ひびわれ補修工数量

部材名	No.	0.2mm≦W<1.0mm 寸法(m)	1.0mm≦W及び道床石灰を伴う場合 寸法(m)	面積(m ²)
地覆	1	0.60	0.2	0.2
	2	0.60	0.2	0.2
地覆	3	0.60	0.2	0.2
合 計			1.80	0.2
合 計				0.000

(鹿向谷大橋)

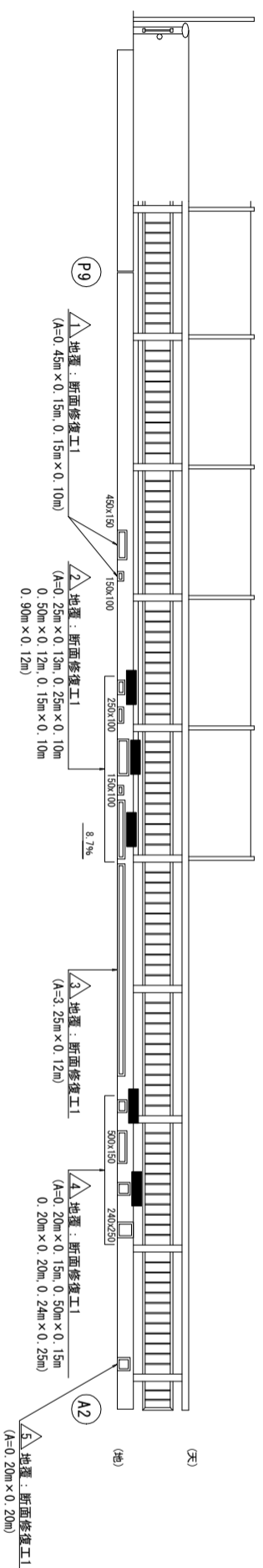
大 子 町

工事種別	鹿向谷大橋 補修図(9)		縮尺	—
図面名称	鹿向谷大橋 補修図(9)			
産地/河川名	町道竹内線日線			
工事箇所	大坂府太子町山田			
設計種別				
事務所名	国際航業株式会社		図面番号	
会社名	国際航業株式会社		10-14	

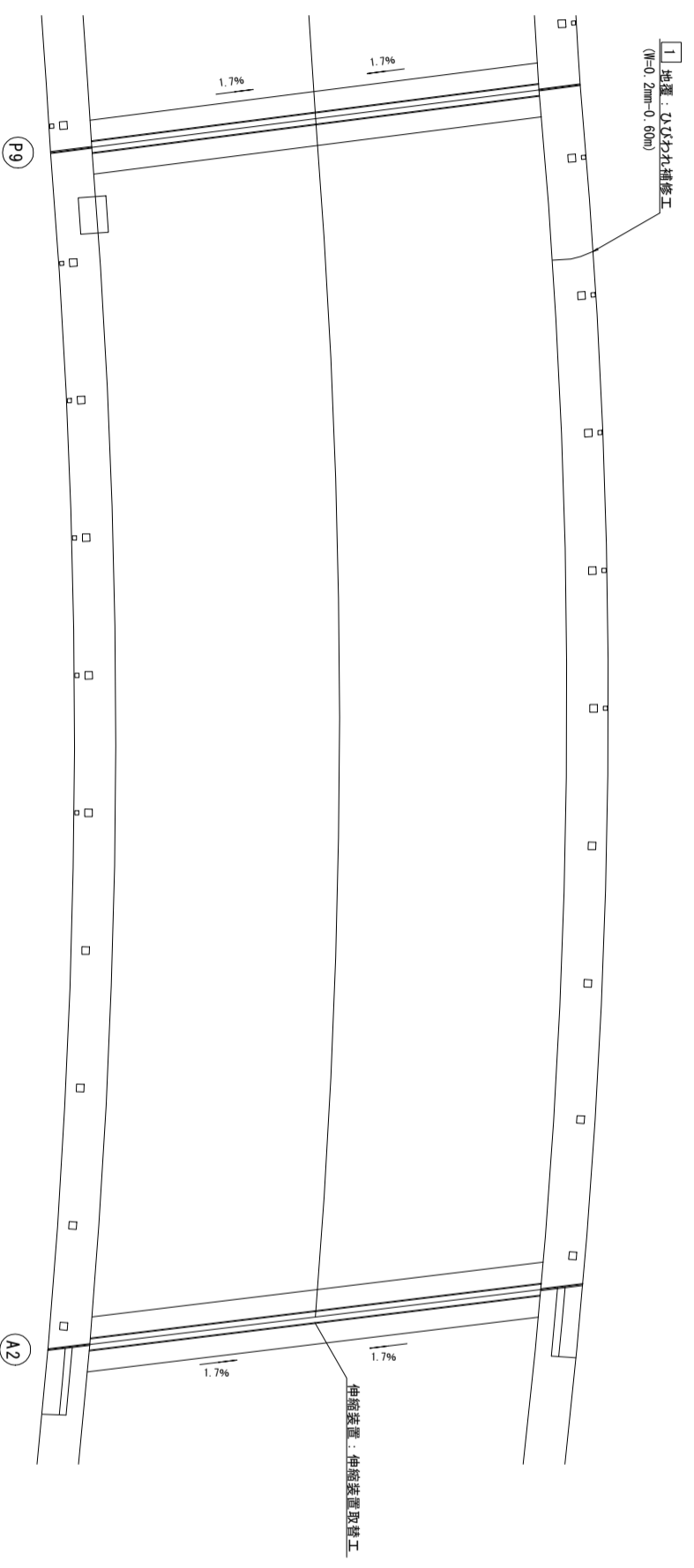
注記)
 1. 施工前には必ず現況寸法を再測し、図面照合
 の後、施工箇所を決定すること。

鹿向谷大橋 補修図(10) [橋面]

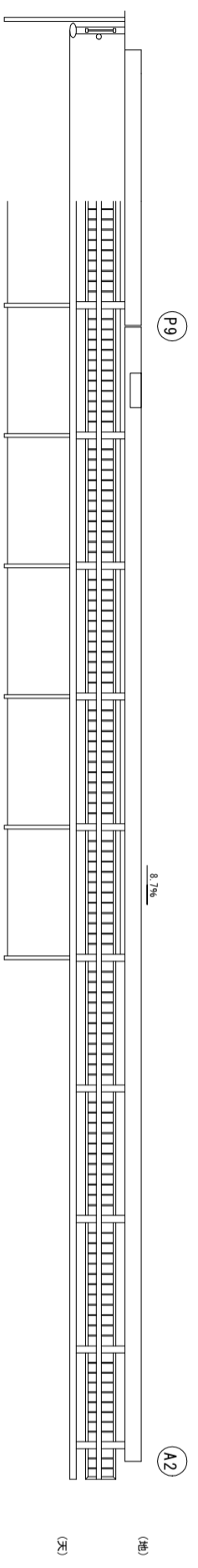
左側側面図



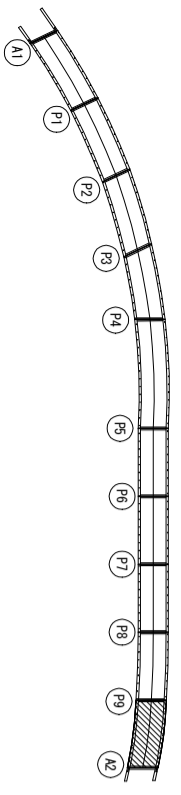
平面図



右側側面図



位置図



損傷の種類	表示	対策工法
ひびわれ		ひびわれ補修工
鉄筋露出		断面修復工1 (防錆処理あり)
うき		断面表記
道床石灰		断面表記
その他		断面表記

※1: ひびわれ補修工は下記とする。
 0.2mm≦W<1.0mm W≦1.0mmまたは道床石灰を併用: ひびわれ充填工
 ※2: 欠損は、断面修復工とする。

断面修復工1(防錆処理あり)数量

部材名	No.	損傷寸法	面積(m ²)
地覆	1	0.45 × 0.15	0.068
	2	0.15 × 0.10	0.015
地覆	3	0.25 × 0.13	0.033
	4	0.25 × 0.10	0.025
	5	0.50 × 0.12	0.060
	6	0.15 × 0.10	0.015
	7	0.90 × 0.12	0.108
地覆	8	3.25 × 0.12	0.390
	9	0.20 × 0.15	0.030
	10	0.50 × 0.15	0.075
地覆	11	0.20 × 0.20	0.040
	12	0.24 × 0.25	0.060
地覆	13	0.20 × 0.20	0.040
合計			0.959

ひびわれ補修工数量

部材名	No.	0.2mm≦W<1.0mm 寸法(m)	1.0mm≦W及び道床石灰を併用 寸法(m)	面積(m ²)
地覆	1	0.60	0.2	0.00
	合計	0.60	0.2	0.00

(鹿向谷大橋)

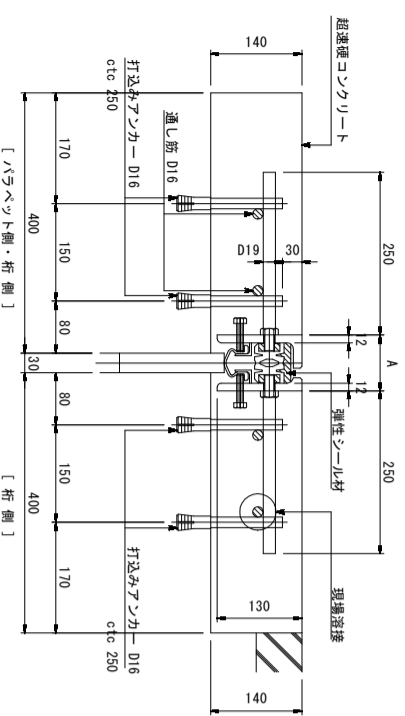
大 町	
工事種別	補修工
図面名称	鹿向谷大橋 補修図(10) 縮尺
橋梁河川名	町道竹内線
工事箇所	大阪府本字町山田
設計種別	
事務所名	
図面番号	11-14
会社名	国際航業株式会社

注記)
 1. 施工前には必ず現況寸法を再測し、図面照合の後、施工箇所を決定すること。

鹿向谷大橋 伸縮装置補修図 (2)

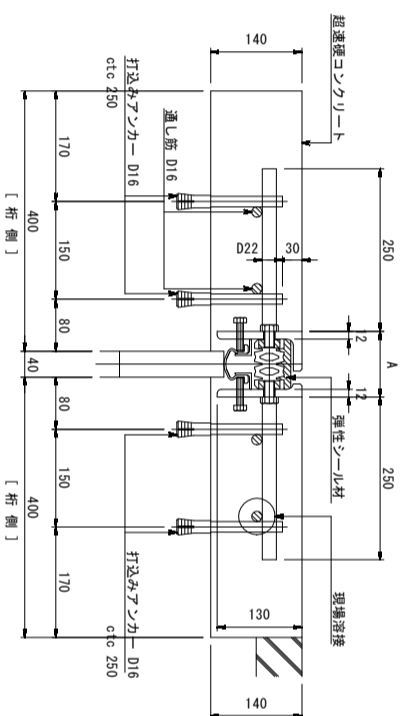
伸縮継手断面図

フロロジョイントCD x 型-20用(二次止水構造)
A1, P1, P2, P3, P5, P6, P7, P8, P9, A2 車道部



※A寸法は、施工時に決定
※伸縮装置設置必要高さ140mm以上を確保すること

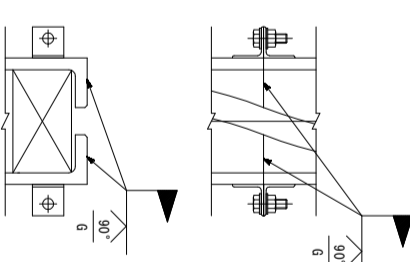
フロロジョイントCD x 型-30用(二次止水構造)
P4 車道部



※A寸法は、施工時に決定
※伸縮装置設置必要高さ140mm以上を確保すること

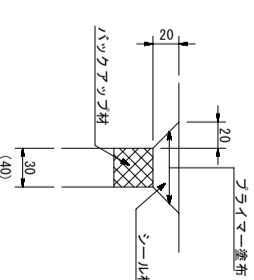
現場接合部詳細

フロロジョイントCD x 型



※()内寸法は、P4部を示す。

シール材充填図



選定条件 (遊間・伸縮量)

選定条件 (遊間・伸縮量)	種軸方向 (常時)	遊 用
A1部		
P1部		
P2部		
P3部		
P4部		
P5部		
P6部		
P7部		
P8部		
P9部	30 mm	17.370×0.4+10=16.9 mm
A2部	30 mm	0.000×0.4+10=10.0 mm

※ 常時の伸縮量は余裕量を含む。
※ 変形条件は現況の支保庫より推定。

材 料 表

名 称	材 質	単 位	数 量									備 考				
			A1部	P1部	P2部	P3部	P4部	P5部	P6部	P7部	P8部		P9部	A2部	合 計	
フロロジョイントCD x 型-20用(二次止水構造)	SS400 金型ZLM SSK45 弾性シール材	m											6.550	6.500	13.15	車道用
フロロジョイントCD x 型-30用(二次止水構造)	"	m											1.704	1.724	3.428	車道用
シール材	シリコン系	リットル											0.734	0.739	1.473	
超硬コンクリート	D16	m ³											104	104	208	
打込みアンカー	D16x66x40	本														上部工・下部工
通し筋	D16x65x40	本														"
"	D16x65x80	本														"
"	D16x65x100	本														"
"	D16x65x120	本														"
"	D16x65x140	本														"
"	D16x66x100	本														"
CD x 型用接着剤	D16x66x100	式											1	1	2	20用
"	"	式														30用

特記事項

- ※1 車道前伸縮装置は、耐久性・止水性を考慮して、鋼材を主材料としたフェースプレートを有する荷重支持型構造(二次止水機能付)の型式とする。
- ※2 施工時には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認のち施工を行うこと。
- ※3 寸法・形状等はメーカーによって多少相違があるため「参考図」とする。
- ※4 製品仕様にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- ※5 伸縮装置は舗装の平坦性を確保するため、後付け工法での取替を想定している。

(鹿向谷大橋)

大 子 町

工事種別		
図面名称	鹿向谷大橋 伸縮装置補修図 (2)	縮尺
図面番号	町道竹内線白線	
設計種別	大坂府太子町山田	
事務所名		
事務所番号		
会社名	国際軌業株式会社	